

様式第11-2号（第18条関係）

現在、整形外科では、当館で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用について、研究対象者の方の同意が得られていませんが、倫理審査委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供してほしくない」と思われた場合にも下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡ください。

|   |
|---|
| <b>【研究課題名】</b> 足関節閉鎖性骨折に対する一時的創外固定の有用性についての検討   |
| <b>【研究対象者】</b><br>2012年4月～2021年3月までの間に、整形外科において足関節骨折（足関節脱臼骨折，足関節果部骨折）と診断され治療・手術を受けられた方            |
| <b>【利用している診療情報等の項目】</b><br>〔診療情報等〕診断名、年齢、性別、受傷機転，受傷日，入院日、既往歴、併存疾患名、手術内容、検査画像（単純X線，CT，X線透視など），診察所見 |
| <b>【利用の目的】</b> （遺伝子解析研究（有・〇無））<br>足関節骨折に対する受傷初期の整復と固定を目的とした応急処置的な手術として行う創外固定法の有用性と問題点を評価することです    |
| <b>【主な共同研究機関及び研究責任者】</b> （営利企業との共同： 有・〇無）<br>研究責任者： 整形外科 医長 塚本伸章                                  |
| <b>【利用期間】</b><br>2020年3月～2022年3月までの間  |

**【この研究での検体・診療情報等の取扱い】**

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたくうえで取り扱っています。

**【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び研究内容の問い合わせ担当者】**

研究責任者： 塚本伸章

研究内容の問い合わせ担当者： 塚本伸章

電話：0952-24-2171（代表）（対応可能時間：平日9時～16時）